

あかねの集い

第155号
平成27年1月30日
発行者
社会福祉法人あひるの会 あかね園
〒275-0024
習志野市茜浜 3-4-5
Tel 047-452-2715
<http://www.akaneen.com/>

平成26年度 園生忘年会

師走に入り一段と寒さが厳しくなった12月26日（金）東京湾のクルーズ船「シンフォニーモデルナ号」を会場に園生忘年会が行なわれました。園生81名、保護者会・就労者親の会・友の会の役員19名、職員31名の総勢131名が午後から集合し、バス3台で日の出の頭まで向かいました。園生たちは年内の仕事が無事に終え、バスの中では待ちに待った忘年会に皆一様に胸を躍らせていました。

日の出の頭に到着後、クルーズ船をバックに事業毎での写真撮影を行ない、いよいよ乗船開始。会場となるモデルナ号に乗り込むと、船の中とは思えないホテルのような豪華な雰囲気、より一層皆の期待が膨らむ様子が見受けられました。しかし、いざ着席すると、船での忘年会が初めての園生も多いせいか、どこか緊張感のある雰囲気となりました。

園長の挨拶に続いて乾杯のタイミングで静かに船が出航しました。今回の食事はフランス料理のコースで、事前に各事業で勉強したテーブルマナーを意識しながら食事を楽しみました。また、食事中は変わりゆく景色を窓から眺めながら、それぞれのテーブルで1年間の思い出話を花を咲かせていました。

そして、今回の見どころでもあるクルーズ船からの景色は、天候にも恵まれとても綺麗でした。各テーブルで4、5階のデッキに上がり、レインボーブリッジ、東京タワー、東京ゲートブリッジ、スカイツリー、羽田空港等、船が通過する度に歓声が上がっていました。また、夕焼け空から夜空に変わる瞬間、また一つ雰囲気が変わった景色を見ることができ、普段味わえない経験となりました。寒い中ではありましたが、夢中で写真を撮る園生や無心に景色を眺めている園生等、思い思いの時間を過ごしていた様です。

2014年の最後を締めくくる忘年会は、2時間という短い船旅でしたが、食事や景色を味わいながら、楽しいひと時を過ごせたのではないかと思います。忘年会終了後には年末の挨拶を互いに交わし、新たに迎える年に向け、気持ちを高めることができたように感じました。（担当：佐藤）



【乗船前、事業毎に記念撮影。この頃はまだ明るく、岸から遠くの景色が良く見えました。】



《あかね園からの報告&お知らせ》

自立訓練事業 ～雑巾絞り～

日課である掃除の取り組みの中で、雑巾絞りチェックを行なっています。今年度も残すところあと3か月となって基本的な掃除用具の使い方は少しずつ身に付いてきました。しかし、雑巾の洗い方や絞りが十分にできていない園生がまだ多く、11月からは雑巾チェックの取り組みを強化しています。始めはなかなかチェックが通らず、何度もやり直しをしていた園生も徐々に握力がついてきており、チェックの回数も減ってきています。指先まで使ってしっかり絞ることで機能訓練の意味合いも大きく、指先の力がつくことで細かな作業にも適応できるようになります。また古くなった雑巾は交換する等、自分で意識できるように日々確認をしています。(担当：白井)



就労移行支援事業 ～企業見学会～

毎年、12月から3月にかけて企業見学会を行なっています。今年度はHOYA(株)、大平洋機工(株)、(株)ニチレイフーズ、(株)モンテローザ、(株)アルペン(スポーツDEPO)、ヤマト運輸(株)の計6社に行くことになりました。

12月12日(金)には大平洋機工(株)を訪問し、社内見学に加えて社員の方やあかね園からの就労者への質疑応答の時間をいただく等、とても有意義な時間を過ごすことができました。事前に見学や質問時のマナーを確認していたことで、質疑応答の際も丁寧な姿勢で積極的に発言する姿が見られました。そして、実際に働いている卒園生を見ることで、就職へのモチベーションを高める機会になりました。(担当：牧野)



就労継続支援B型事業 ～年賀状づくり～

12月の生活実習は、17日(水)に本場班、市川環境班、東京アート班合同で年賀状作成を行ないました。今回は宛先をあかね園にして、新年の抱負も併せて考えていただきました。表面の宛名や住所、裏面の「あけましておめでとうございます今年もよろしくおねがいたします」の挨拶文は、下書きをしながら一文字ずつ丁寧に書いていました。その後は裏面を干支である羊の絵を描いたり、シールを貼ったり、思い思いにきれいに仕上げている様子が印象的でした。みなさん心のこもったオリジナリティ溢れる年賀状が完成しました。

どうぞ今年もよろしくお願い致します。(担当：吉原)



就業・生活支援センター ～在職者交流会～

2か月に1度、支援センターに登録している在職者を対象として在職者交流会を開催しています。京成津田沼駅前のサンロードビル5階にある和室を利用して、食事や交流活動を楽しんでいます。18時～20時の開催ということもあり、仕事が終わってから参加する方がほとんどです。

活動内容としては、8月・10月はチーム対抗でのゲーム、12月にはそれぞれの会社やお世話になっている人に向けての年賀状作成を行ないました。あかね園からの就労者だけでなく、幅広い年齢層、様々な職種の方がいる集まりとなっています。活動の中でお互いのことを話しながら、継続的な就業への励みにしてもらえればと思います。(担当：下西)



ホーム

それぞれのホームコンセプトのもと、現在4カ所で展開しているあかねホームですが、今回は「あかねホーム鷺沼」の様子についてお伝えします。

あかねホーム鷺沼は平成25年7月にオープンしました。マンションの2階と3階に分かれ、男性2名、女性3名、合わせて5名の方が入居しています。共同生活の場を通じ将来の自立、地域生活に必要な力、課題等について確認し、家庭との連携も交えながら支援を行なっています。



【クリスマス会の様子】

そんなあかねホーム鷺沼の近隣マンションの一室で、昨年12月より「あかねホーム鷺沼サテライト」がスタートしました。こちらは、あかねホーム幕張西にいた方が入居しましたが、徒歩5分のあかねホーム鷺沼より必要最小限のバックアップを受けながら、完全な一人暮らしに向けた生活の場となります。このサテライト型グループホームが加わり、あかねホームは現在5カ所となりました。今後も入居者の方々が、それぞれの自立に向けたステップアップを目指していきます。（担当：渡辺）

厨房

＜クリスマスメニューについて＞

平成26年のクリスマスは特別なメニューを出したいと考え、給食会議において何度かリクエストがあった焼菓子を作ることにしました。毎年恒例のローストチキンに加え作ったのは、シュークリームです。焼菓子を給食で出すのは、あかね園設立以来初の試みでした。シュークリーム作りは忙しく大変でしたが、みなさんの喜んでくれる姿を見られたことがとても嬉しく、作って良かったと思いました。



＜食堂の装飾について＞

給食に対する興味を深めてもらいたいと考え、食堂の雰囲気を変えることを始めました。観葉植物を置いたり、献立表を置いたりするなどの工夫をしています。今後もよりおいしく食事をしてもらうために、環境づくりを進めていきたいと思っています。2月にはとても大きな時計を設置する予定です。ご期待ください。（担当：山崎）

職員研修

11月19日（水）あかね園の食堂にて3つのテーマに沿って職員研修を行ないました。

①感染症・・・実際の場面を想定した嘔吐物処理のレクチャーを行ない、その後グループ毎に実技形式で動きの確認をしました。

ノロウィルスの予防には手洗い・うがいと十分な休養が大切です。もし症状が見られたら早めに通院してください。また、大規模感染を防ぐために登園を控えていただく場合があります。なお、感染症が完治した後に登園する際には「治癒報告書」が必要です。（保健担当：白井）

②職員としての心得・・・職員自身の日頃の言動を振り返り、社会人として、あかね園職員として、また支援者としてあるべき姿を改めて見直すことができました。

③相談支援事業所の役割とサービス等利用計画・・・習志野市指定相談支援事業所「玲光苑」の武石氏から説明をいただき、制度の内容やサービス等利用計画作成の流れを確認しました。

今回の研修は盛り沢山でしたが、どれも大切な内容で職員一同真剣な表情で参加をしていました。今後もより良い支援を目指して有意義な研修を重ねていきたいと思ひます。（研修担当：高師）



余暇

12月の余暇活動は13日(土)にサークル、20日(土)にサッカーの取り組みを行ないました。太鼓は4拍子などの基礎練習、刺し子はそれぞれの作品の仕上げ、フラワーアレンジメントはお正月に向けたしめ縄作り、絵画ではクリスマスのポストカード作りを行ないました。サッカーはあいにくの雨で、残念ながら園内での活動になりました。次回は外で思い切りボールを追いかけてほしいですね。

サークル、サッカーともに取り組み終了後、参加者へのささやかなクリスマスプレゼントとして、サンタクロースのマシュマロをお渡ししました。「メリークリスマス!」と言葉を交わして手渡すと、みなさん少し照れながらも嬉しそうな様子でした。

(担当: 吉原)



保護者の活動

保護者会

12月5日(金)園長、副園長、保護者31名で千葉市花見川区の畑町ガーデンと通勤寮(グループホーム)を見学して来ました。こちらの事業所は、通所だけでなく入所施設もあり、地域に向け様々な教室を開催するなど地域交流を大切にしています。本館では体力作りとして園庭で歩行訓練をされている方、3つの活動班(パン工房、パソコン、園芸)に分かれて自立と移行の方が一緒に作業を頑張っている姿が見られました。通勤寮では、職員の方から利用者の日常の過ごし方や集団生活でのトラブル、金銭管理の難しさなど苦労話を交えながら室内を詳しく案内していただきました。今回、子どもの将来のために親として今できることを考え直す良い機会になりました。

(保護者会: 石橋)



就労者親の会

今年度の研修会は、ホテルスプリングス幕張を会場に「障害者雇用の現状と課題—家庭に求められること—」と題した講演会を行ないました。(講師: NPO法人障害者就労・雇用支援センター理事長秦政氏)参加者42名、“社会の一員”として我が子をどうサポートしていくかを、それぞれ宿題として持ち帰る思いだったのではないのでしょうか。参加者より寄せられた感想文を一部抜粋(紙面の都合上)してご紹介します。

「親の会に参加して」 11月21日(金)初めて研修会に参加しました。第一部は、障がい者の就労・支援のエキスパートで高名な秦政氏の講演があり、そのお話の中で印象に残るいくつかを取り上げると

①法律の制定や改正により、障がい者を取り巻く環境は整備されてきた。権利が担保されれば当然義務も生じる。(働きやすい環境が整えば、責任も生じ甘えは許されないということなのだろう。自分の子どもはどうだろうか、責任を持って仕事をしているだろうか。はなはだ心もとない。)

②産業構造の変化が見込まれるが、障がい者雇用は拡大する。それは、福祉行政への予算が逼迫していることが大きな要因でもある。(確かに新聞では、今年の障がい者雇用数は例年になく伸びたと載っていた。これからは、仕事の範囲も広がり色々な仕事に挑戦する時代になるのではないかと、大変だと思うが喜ばしい。)

その他、貴重なお話を伺うことができました。その後、グループに分かれてのディスカッション、各自が子どもに対しての悩みや良いところ等を話し合っただけの情報交換。情報の共有こそが安心と連帯を生むことになることを痛感しました。あかね園を中心に活動されている親の会の役割の重要性を改めて認識いたしました。ありがとうございました。

(就労者親の会: 楠 勉)



友の会

皆様お元気で新年をお迎えのことと思います。今年も友の会をどうぞよろしくお願ひいたします。さて、既にご案内しましたように、2月26日(木)は恒例の研修会となっています。今回は最近よく耳にする「共生社会」とはどのようなことなのか、皆で考えてみたいと思います。日頃の様々な思いを自由に話し合ひましょう。是非ご参加ください。また、11月27日(金)は友の会コンサートです。今回はグッと趣を変え、若い女性の津軽三味線演奏と日本の歌曲を予定しています。詳細は順次お知らせいたします。

(友の会: 中内)

研修会 2月26日(木) 於 茜浜ホール 午後1時より
地域で暮らすためにⅧ 「共生社会」とは